

2024年度用



人間文化学部
SCHOOL OF HUMAN CULTURES

DEPARTMENT OF INTERCULTURAL COMMUNICATIONS

国際コミュニケーション学科

異文化を理解・体験する

国際社会を理解する

外国語による
コミュニケーション能力の向上

さらにあなたは何を



にしますか?

滋賀県立大学

THE UNIVERSITY OF SHIGA P R E F E C T U R E



LANGUAGE
LANGUAGE

언어
언어

LANGUE
LANGUE

ХЭЛ
ХЭЛ

语言
语言

SPRACHE
SPRACHE



2022年4月に本学科は開設10周年を迎えました。
卒業生は社会のさまざまな分野で活躍し始めています。

複雑化・多様化する社会において国内外を問わず広く活躍することのできる、国際的視野と語学力を兼ね備えた人材の育成を目的として、2012年に滋賀県立大学人間文化学部の本学科が開設されてから11年が経過しました。他学部・他学科との連携によって、大学全体の国際化は着実に進められています。

こんなあなたを求めています！



- 01 日本だけでなく諸外国の社会・文化・歴史に強い関心を持ち、それらについての幅広い知識・教養を身につけようとする人
- 02 英語(または他の外国語)を意欲的に学んできた人で、今後もそれらの実践的運用能力を高めようとする人
- 03 獲得した知識を活かして、国際社会および地域社会において積極的に異文化間コミュニケーションを図り、国際化する社会のさまざまな課題に取り組む意欲をもった人

学びのステップ

グローバル化する現代社会に適切に対応する「知と実践力」を養うカリキュラム

自国や諸外国の社会・文化・歴史等に関する幅広い知識や教養、英語を中心とした複数の外国語の運用能力と国際的視野を学生一人一人が身につけることを目指します。

4年間の学習フロー								
科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
全学共通科目	外国語・健康体力科学・情報処理 人間学							
学部共通基礎	環琵琶湖文化論実習・人間文化論							
学科基礎	国際文化論、文化人類学概論							
学科専門科目	基礎科目				展開科目			
言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 英語 「読む・聞く・話す・書く」の四技能をバランス良く身につける。 実践英語 TOEICやTOEFLなどの検定試験に対応できる力をつける。 初習外国語 英語以外の初習外国語の能力を身につける。 言語と文化 言語・文学・文化などに理論的な側面からアプローチする。 							
多文化コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 多文化共生 多民族・多文化化する現代の世界や地域社会の課題を理解し、それに対応できる知と実践力を身につける。 国際教養 国際的視野で異文化を理解するための方法論を身につける。 国際文化論 世界各地域、とりわけ留学先の文化・歴史・社会等への理解を深める。 							
少人数演習	人間探求学(全学共通)		基礎演習		発展演習		研究演習	
卒業研究・論文	<ul style="list-style-type: none"> 各科目群の学びをさらに深め、同時にプレゼンテーション、ディスカッション、論理的思考、問題発見・解決のための力を身につける少人数での演習(ゼミ) 論理的なアカデミックライティングと、内容の独創性を備えた卒業研究・論文で、学びを集大成する 							
資格関連科目	中学校教諭一種免許(英語)・高等学校教諭一種免許(英語)が取得可能なカリキュラム							

目標 TOEIC730点以上を達成!

外国語コミュニケーション能力と国際的視野を身につけるための科目群

学びの PLUS One — 学科の特色 —

PLUS 2言語

合言葉は「英語+ワン」

すでにヨーロッパ諸国や韓国などでは「母語プラス2言語」の考え方が一般的になってきています。これからは英語ができるのは当たり前で、それに加えて何が出来るかということが問われます。この学科では英語以外の言語もしっかりと学習できるようなカリキュラムを用意しています。

- ドイツ語
- フランス語
- 中国語
- 朝鮮語

から選択

PLUS 海外留学

短期集中、長期的展望

みなさんには2回生の後期から1年間の海外留学(短期・中期もあります)を推奨し、その準備をするために短期間で語学力を身につけるカリキュラムを用意しています。また、帰国してからも、留学中に身につけた外国語の運用能力を維持・向上させるための授業があります。

PLUS 向上心アップ

教員は身近な相談相手

スタッフの多くは全学共通教育の外国語科目の授業も担当していますので、基礎教育の段階から専門教育まで一貫してサポートすることになります。ほとんどが少人数制の授業ですので、学生と教員の距離が近く、きめ細やかな指導やサポートが可能です。

自習に適した学習環境

言語の習得に欠かせないのが、自習の時間です。授業外での学習をしっかりサポートするために、TOEIC対策の教育・学習プログラムを用意しています。また、LL教室や学科の自習室、卒論執筆目的の自習室(ラーニングcommons)、Communication Loungeなどの施設もありますので、大いに役立ててください。

「留学体験レポート」を見てください。

これ以外にもあなたにあわせて履修モデルが組めます。

あなたは何を PLUS One にしますか?

● 履修モデル① 英語圏への長期留学

国際コミュニケーション学科では1年間の留学をしても4年間で卒業できるようなカリキュラムとなっています。もちろん、英語以外の外国語を「プラスワン」にしたい人にも第2外国語の中級・上級科目を履修するチャンスはあります。

1年次		2年次		3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
留学に必要な外国語能力を身につけます		海外留学		外国語能力をさらに磨きます		外国語能力をさらに磨きます	
英語集中中間		1年間の長期海外留学を経験します。		「読む・聞く・話す・書く」の四技能をバランス良く磨き上げます。		「読む・聞く・話す・書く」の四技能をバランス良く磨き上げます。	

● 履修モデル② 教職課程+留学

教職課程は将来教師になることを目指している人だけではなく、「教える」という観点に立って何かを学びたいと考えている人にとってもお薦めです。他者に自分の考えをわかりやすく伝えるためには何が必要となるのか体感し、教職課程で身につけた能力を是非あなたの「プラスワン」にしてください。

1年次		2年次		3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
外国語能力を身につけると同時に教職科目を履修します		海外留学		外国語能力をさらに磨きます		外国語能力をさらに磨きます	
英語集中中間		長期・中期・短期いずれかの海外留学を経験します。		「読む・聞く・話す・書く」の四技能をバランス良く磨き上げます。		教育実習	

※教職課程+長期留学の場合も、4年間で卒業することができます。

● 履修モデル③ 英語圏以外の国への留学

英語圏以外の国へ留学する人のために、第2外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語)を留学前に集中してしっかりと学べるカリキュラムを用意しています。第2外国語を中心に学びたいと考えている人の「プラスワン」は英語になります。※モンゴル語も専門科目で履修できます。

1年次		2年次		3年次		4年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
留学に必要な外国語能力を身につけます		海外留学		外国語能力をさらに磨きます		外国語能力をさらに磨きます	
英語集中中間		長期・中期・短期いずれかの海外留学を経験します。		「読む・聞く・話す・書く」の四技能をバランス良く磨き上げます。		「読む・聞く・話す・書く」の四技能をバランス良く磨き上げます。	

その
学びのコラム ①

ソトを知り、ウチを知る

自分を知るためには、いつも「他者」を参照する必要があります。それは他人と自分を比べて優越感や劣等感を抱くことではなく、自分と向き合うためのヒントを得るためです。他国の文化を知ることによって、自国の文化を意識し理解を深めることができます。

大学院への進学

平野 愛華さん(2021年度卒業生)
進学先：本学大学院 人間文化学研究科

私は本学科の卒業生で、現在は滋賀県立大学大学院人間文化学研究科に所属しています。異郷の地での文化変容に関心を抱き、滋賀県からの「カナダ移民」について研究を行っています。卒業論文の執筆の際には、この大学がある八坂町の寺院で調査を行うことにしました。その機会に、八坂が明治時代にカナダに多くの移民を送り出した土地であることや、寺院の改修工事の際にカナダから送金があったということなどを知り、移民のコミュニティや故郷とのつながりについて研究したいと考えようになりました。将来、研究職に就くことを視野に入れていたため、大学院進学に関しては、あまり迷うことはありませんでしたが、応援や支援をしてくれた家族には感謝しています。

調査や研究に関しては不慣れなことも多いのですが、指導教員だけでなく、様々な研究分野の先生方にご指導いただいて、研究を進めることができます。また、休日にも先生の調査に同行させてもらうことがあります。このように学生時代のうちに経験や実績を積み重ねて、将来の糧にしたいと考えています。



PLUS

ステップアップ

教職課程

本学科では英語の教師を目指す人のために中学校教諭一種免許状(英語)と高等学校教諭一種免許状(英語)が取得できるカリキュラムが用意されています。教育の現場で必要とされる英語の実践力を海外留学によってさらに磨きをかけて、すでに中学校や高等学校で教壇に立っている卒業生もいますし、現在、教員になることを目指して努力を積み重ねている学生もいます。

大学院への進学

また大学卒業後もさらに勉強を続けたい人は、本学の大学院(人間文化学研究科博士前期・後期課程)に進学することも可能ですので長期的な展望をもって勉学に取り組んでください。

その
学びのコラム ②

継続する力

一つの言語を習得するのは非常に難しいことです。誠実にコツコツと学ぶ姿勢がとて重要になってきます。継続は力なり!また、大学だからこそ、すぐに身につかないことをじっくり学ぶことができますし、言語のしくみや言語の背景にある社会・歴史・文化などについてもさまざまな角度から学びましょう。

PLUS

おうみがくし
近江楽士(地域学)副専攻

副専攻は主専攻である「学科」における学習に加え、全学部・全学科にまたがって学際的・横断的に学習するプログラムのことです。近江楽士(地域学)副専攻では「地域に根ざし、地域に学び、地域に貢献する大学」という本学の特徴を活かし、地域に学ぶ教育プログラムを通して、コミュニケーション力、問題解決力、行動力などの社会人基礎力の向上を目指します。

詳しくは <https://www.usp.ac.jp/gakubu/tiiki/ohmirakushi/>を参照してください。

研究分野とスタッフ

□ 応用言語学

これまで個々に研究されていた言語学・教育学・心理学などの学問の境界を越えて多角的に言語を研究する学問です。具体的な言語データを実際の教室から収集し、その分析を通して言語習得を理論的に説明したり、教育現場に活かすことに結びつけたりします。言語をその背景を踏まえて考察する人文科学と社会科学の複合領域です。

(ジョン・リビー教授、マーティン・ホークス准教授)

□ 言語学

ヒトが使用する言語には、ヒト以外の生物のコミュニケーション手段とは質的に異なる特徴があります。言語学とは、人間言語の〈形式〉と〈意味〉との関係、歴史的な用法変化などの諸問題を、母語話者の言語直感(文法的容認度)、文献調査、電子データ化された言語資料等に基づいて科学的・理論的に分析し、ことばの不思議に迫る学問領域です。

(呉 凌非教授、吉田 悦子教授、吉村 淳一准教授、中谷 博美准教授)

□ 英文学

イギリスだけではなく広く英語圏の文学作品を読み、実用的コミュニケーションからはみ出す言葉の効果を研究します。言葉そのものの美しさをじっくり味わいながら作品を丁寧に読み、作品の歴史的背景や文化的状況を理解することを通して西欧の思想・文化・歴史の伝統の大きな流れを掴みます。

(山本 薫准教授)

□ 文化史・思想史

わたしたちが日頃、あたりまえのように親しんでいる様々な文化が、どのような時代的(社会的・政治的)背景において形作られてきたのかについて調べ、分析します。また、そのような文化の歴史が、当時の哲学的な思考とどのような連関を持っているかについても考えます。

(岡本 夢子講師、間 永次郎講師)

□ 近現代史

近現代史は、歴史の当事者たちがまだ生きていて語り尽くされていない部分が沢山ある研究分野です。また、激変する現代社会の方向性によって解釈がいろいろと変わることもありますので流動的な学問ともいえます。歴史を溯ることによって現代社会を理解します。

(ボルジギン・ブレンサイン教授、河 かのる准教授)

□ 文化人類学

文化人類学は、個々の文化の特殊性と、人間存在の普遍的性格についての考察を積み重ねてきた学問といえるでしょう。それは、めぐるめくような文化の多様性の中に、人間存在の核のようなものを見つける作業といえるかもしれません。本学科のスタッフは、チベットを対象とし、人間とその文化についての考察を深めてきました。

(棚瀬 慈郎教授)

学習支援

COMMUNICATION LOUNGE (A1棟119号室)

本学科の学生の外国語学習や留学生との交流のための空間です。英検やIELTS・TOEFL・TOEIC等の検定試験などの様々な情報を提供し、英語の学習方法や留学についてのあらゆる相談に応じています。留学生との交流を通じてさまざまな言語の運用能力を高める**Nice Conversations Program**や**Group Conversation**に加えて、2018年度からは海外での経験を共有する**Intercultural Salon**という企画も始めました。

(詳しくは <https://www.facebook.com/usp.dic.englishroom/>)

◆ Nice Conversations Program (予約制)

外国語の会話力向上をめざす県大生のためのプログラムです。あなたもCommunication Loungeで交換留学生と英語やその他さまざまな言語で日常会話を楽しみましょう。



◆ Group Conversation

留学生と会話を楽しむ機会を提供しています。使用言語は自由です。まずは交流の輪を広げましょう。



◆ Intercultural Salon

学科の学生が旅先で体験してきたことを英語や日本語でプレゼンし、その体験を共有します。

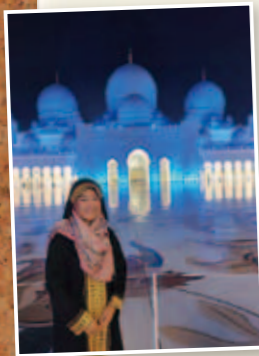


海外滞在記

“小さな地球”ドバイでどっぷり異文化交流

久木 絢加さん(4回生)

私は、中東のアラブ首長国連邦(UAE)のドバイへ約半年間、英語を学びに休学留学しました。ドバイを選んだ理由は2つあります。1つ目は渡航制限が比較的緩く実現可能性が高かったこと、2つ目は人口の80~90%が外国人という特殊な社会環境に興味をもったことです。語学学校にはタイやコロンビア、トルコをはじめ世界中から幅広い年齢層の生徒が集まっています、出会いの連続の中で「どんな人とも繋がる英語の素晴らしさ」を肌で感じました。シェアアパート生活も刺激的で、ネパール人やシンガポール人と郷土料理やお菓子を分け合ったのが懐かしいです。また、元々学生記者をしていたNPOメディアでのエッセイ連載やUAE7首長国めぐりにも挑戦しました。自分の足と五感を使って探索する中での気づきや感動が重なり、ほとんど何も知らなかったUAEが今では好きになりました。留学を通して、その土地や文化に自分なりに適応する努力をし、ラクダミルクやラクダ肉を試すなど未知のことも楽しむことができる新たな自分を見つけたと思っています。確固とした理由や目的がなくても、少しでも世界に興味があるのなら、勇気をもってぜひ飛び込んでみてください。



学生サークル

びわこまち

留学生が日本語や日本文化を学べる機会を提供したり、ゲームやイベントを通して、本学の学生と留学生が交流したりして、楽しく活動しています。



ESS

「楽しく学ぶ」をモットーにゲームや海外留学生との交流を通じて英会話のスキルアップを目指す学生サークルです。



交換留学生

My Stay at The University of Shiga Prefecture

Jessica Tsang (ジェシカ・サンク)さん(イギリス ヌーヨークセントジョン大学)



Since my arrival in Japan, I have thoroughly enjoyed my time at The University of Shiga Prefecture. This was my first time coming to Japan, and I had limited Japanese speaking skills, so I felt nervous about navigating through Japan life and also attending university. Especially when I first joined the Nice Conversation programme in the Department of Intercultural Communications, I felt anxious about meeting Japanese students. However, all the staff and students were very welcoming and have been very kind and attentive, so as time went on, I have felt more at ease and enjoyed meeting new people. I have learned a lot about Japanese culture, ranging from food to fun activities. I appreciate everyone's eagerness to share their culture with me, as well as their interest in my culture. In addition, there are also many other exchange students from countries around the world such as Australia, France, and China, who have all shared their culture with me. It has been interesting learning about each culture's society and way of living because, while we may have a surface-level amount of knowledge about a certain culture, it is much more insightful to speak with someone of that culture, allowing us to gain a deeper understanding. I feel more enriched having learned more about their lives and experiences. I think being in the Department of Intercultural Communications has been a great opportunity to learn so much and for meeting new people. I am grateful for this opportunity to come to Japan, and I look forward to returning home and continuing my studies!

彦根での留学生活

Axelle Lesaulnier (アクセル・ルソーニエ)さん(フランス オルレアン大学)

日本に来て8ヶ月になります。留学の目的は日本語を上手に話せるようになり、様々な文化的なところを見て回ることです。

県大では日本語の文法や会話の授業があり、英語で日本の文化や社会などについて学んでいます。大学では他国からの留学生と知り合うことができ、日本人の学生とも日本語で会話ができます。日本語の授業や日本人の友人のおかげで、日本語で話したりできるようになりました。日本語を使って働きたいと考えているため、日本語を上手に話せることや自然な表現を知ることは私にとって必要なことです。

私は彦根市の観光スポットをよく訪れています。琵琶湖の回りを散歩したり、城下町へ行ったりしています。彦根市には自然が多いので、住みやすく、散歩するのも最適です。その上、京都、大阪、名古屋に近く、どこにでも楽に行けるので、よく旅行をしています。旅先では、和食や和菓子を楽しんでいます。

このように活発で楽しい生活を過ごすことができ嬉しです。日本の生活を体験して自分自身の文化もとてもよくわかるようになりました。



留学支援

ようこそ国際化推進室へ

本学学生の海外留学に関する相談に応じ、実際に手続きを行ってくださるところが国際化推進室です。外国人留学生の受け入れ支援も行っています。留学するならば気軽に相談してみましょう。

留学ガイドブック2023ができました

本学科のホームページからダウンロードできます。
<https://www.usp.ac.jp/gakubu/jinbun/gakubu/kokusai/icc/index.html>

- * 長期・中期
 - ** 休学中の場合、単位の認定はありません。
 - *** 一人の学生が2箇所以上に留学していることもあるため、上欄の合計値とは一致しません。
- ※ 2018年度以降に入学した学生は新型コロナウイルスの感染拡大のため、留学を中断したり、計画を変更したりしました。
※ 2022年度前期から留学が再開されました。予定者も人数に含まれています。

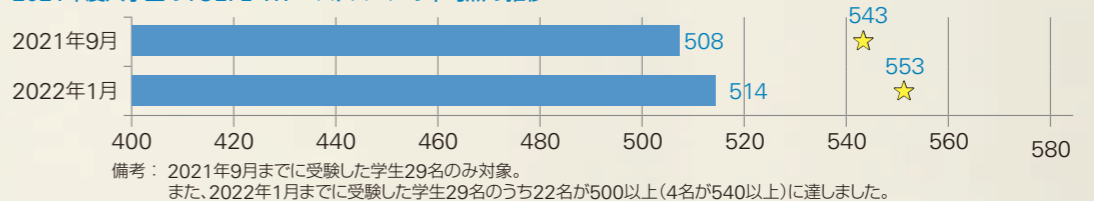
本学科の留学状況(2023年7月現在)

	国名	入学年度										
		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
交換派遣認定*	アメリカ合衆国	27	28	24	25	22	28	13	0	13	19	15
	イギリス	2	0	2	1	1	5	3	0	2	1	2
	カナダ	1	1	3	2	1	4	3	0	0	2	2
	オーストラリア	0	1	1	1	3	2	1	1	1	2	0
	ニュージーランド	0	2	3	1	1	0	0	0	0	0	0
	ドイツ	3	4	3	3	0	3	1	1	0	1	2
	フランス	1	3	2	5	4	2	1	0	1	1	0
	イタリア	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0
	中国	2	3	0	1	3	2	5	0	0	0	0
	台湾	0	0	0	2	2	0	2	0	0	0	3
	韓国	2	1	0	2	0	1	1	2	2	3	3
	モンゴル	3	0	2	1	4	1	0	0	0	2	0
	ロシア	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンガリー	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	スペイン	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	フィリピン	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
ヨルダン	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
キューバ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
フィジー	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
マルタ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
短期	アメリカ合衆国	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	カナダ	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	イギリス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ドイツ	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	フランス	0	0	0	5	2	0	0	0	0	0	0
	韓国	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
休学**	オーストラリア	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	フランス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	イギリス	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	カンボジア	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	ミャンマー	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
留学した学生数***	43	45	42	45	42	54	31	4	19	31	27	
各学年の学生数	50	50	48	51	53	56	50	51	54	50	49	

TOEFL-ITP 留学対策

英語圏の多くの大学が、TOEFL-ITPのスコア500以上(677が満点)を志願の条件としています。

2021年度入学生のTOEFL-ITPベストスコアの平均点の推移

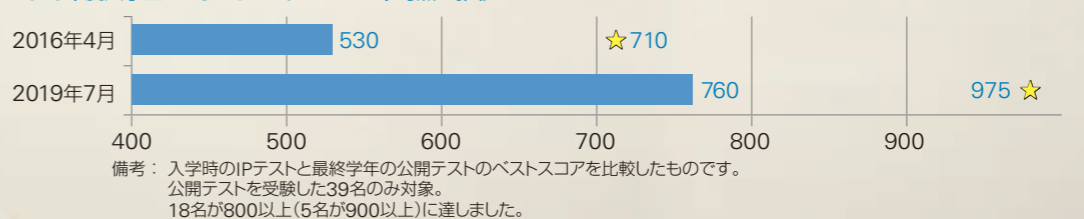


TOEFLテストとは、Test of English as a Foreign Languageの略で、大学のキャンパスや教室といった実生活でのコミュニケーションに必要な、読む・聞く・話す・書く4つの能力を測定するものです。アメリカの大学に留学するには、このTOEFLのスコアが必要です。個人受験は現在、iBT(Internet-based Test)というインターネット版のテストのみ受験可能です。滋賀県立大学でも団体向けテストプログラム TOEFL ITPテスト(Institutional Testing Program)が受験できます。留学先によっては、ITPのスコアでも出願可能です。

TOEIC 就職対策

本学科では、企業が一般的に「評価できる」とする目標点(730以上;990が満点)の達成を目指しています。

2016年度入学生のTOEICベストスコアの平均点の推移



留学体験レポート

先輩たちの体験談集

受験生のみなさんはそれぞれに大学に入ってからこんなことしてみたいという願望や、また何ができるのかという疑問を抱いているかだと思います。本学科では留学という一つの選択肢が用意されています。留学といっても行き先によって事情が異なります。そこで、留学について少しでも具体的なイメージをもってもらえるように、みなさんの先輩となる人たちの留学体験談を紹介します。

語学のためだけではない留学

私は、イングランドの北に位置するヨークという街にある、ヨーク・セントジョン大学に留学をしました。ヨークは自然と歴史を感じることができる、魅力があふれている場所です。
私はこの留学を通して、国籍・年齢・育った環境が全く異なる新しい人と出会い、そのおかげでより柔軟に物事を考えられるようになりました。留学中にできた私の友達はみな、自分で学費を稼ぎ大学に入学しているため、多数が年上でした。それぞれが自分のやり方で楽しんで学んでいる姿を見て、何事も自分のやり方で、自分のペースでいいのだと思えるようになりました。また、留学中は日本に居る家族や友達だけでなく、現地の友達存在に助けられました。初めはネイティブの英語のスピードについていけず、何度も聞き返すことばかりで悔しい思いをたくさんしましたが、友達がみな私の気持ちを理解してくれて優しく教えてくれたおかげで、たとえ辛くても逃げることなく英語に向き合えました。この経験を活かし、自分らしさと目の前にいる人への感謝を忘れず何事にも挑戦したいと思います。

上野 円佳 さん ● 4回生 ● 交換留学

遠くは近く、近くは遠く

アウクスブルク大学で過ごした1年間は、これまでの人生で最も新しいものに出会えた期間となりました。海外での大学生活という未知の経験を前にして不安もありましたが、それを実現するために勉強を続けました。留学前には大事なのは語学力やコミュニケーション能力だと考えていましたが、実際に行って使ったのは私がこれまで学んできたほぼすべての知識でした。友人とは料理を一緒にしたり、アニメや漫画の話で盛り上がり、時にはスポーツ観戦なども心を通わせていきました。どれほど遠くに住んでいても人間同土根底にあるものは同じなんだと経験することができました。語学力だけではなく、好きなものや自分の意見など内面を見ることが大切であることにも気づきました。その一方で隣国なのに考え方が全く異なるという体験もしました。その違いを知るために15以上の国に25,000km以上もの道のりを1人で旅行し、現地の人と話をしました。自分の意思で、足で、目で世界の一端を直接知るといった経験は刺激的で私の人生を彩る、かけがえのない経験となりました。

井畑 和真 さん ● 4回生 ● 交換留学

ひと味違ったフランス体験

私はフランスのリール政治学院に一年間留学しました。リールは、フランス北部、ベルギーに程近い、交通の要所として栄えてきた街です。リール政治学院では、政治学を中心に、経済学、国際学などを勉強することができます。県大よりも小さく、こじんまりとしているため、ヨーロッパ、アフリカ、南米など世界中から集まった留学生やフランス人学生と、濃密な時間を過ごすことができます。
フランスでは、ストライキやデモ運動を通して、人々は意見を表明し、改革を求めたりします。これらに実際に参加してみて、色々と考え機会を得ることができました。また、フランスでは、日本文化への興味が高まってきています。日本料理店を始めとし、漫画書店や日本語勉強会などをあちこちで見つけることができます。私も、日本文化や日本語に興味がある人たちとの勉強会に参加しました。フランスといえは、パリのようなイメージがありますが、リールでは、オランダやベルギーの影響を受けた食べ物や建物など、少しユニークなフランスを体験することができました。

堤 将太 さん ● 4回生 ● 交換留学



協定校等の具体的な留学先



留学は他国の言語や文化を学ぶことができるだけでなく、自分や自国の文化としっかり向き合える貴重な機会を提供してくれます。そのため国際コミュニケーション学科では2回生の後期から留学することを推奨しています。期間は長期留学(9~12ヵ月)・中期留学(3~6ヵ月)・短期語学研修(3~8週間)があり、英語圏だけでなく、ドイツ、フランス、中国、韓国、モンゴルなど履修した外国語科目に合わせて留学先を選ぶことができます。また協定校以外への認定留学制度もありますので、ぜひ自分に適した留学先を見つけて異文化を体験してみてください。



派遣留学

教科書では学べないこと

私はアメリカ合衆国ミシガン州のデトロイト国際空港から自動車で約20分の距離に位置する東ミシガン大学に2学期間留学しました。日本人に会うことがほとんどない環境に身を置くことで英語力が伸びただけでなく、自分で行動して人の輪を広げる力をつけることができたと思います。大学の講義はもちろんすべて英語で行われますが、「英語を学ぶ」だけでなく「英語で学ぶ」ということを意識して講義を受けました。なかでも、人種・民族に関する講義では、実際に様々な背景を持った学生と議論をして考えを深めることができました。また、大学の日本語学科のチューターとして現地の学生に毎週日本語を教えるという経験をすることもできました。休日は友人とバスケットボールの試合(NBA)を観に行ったり、旅行に行ったりしたことも思い出です。多文化社会アメリカでの生活は毎日が刺激的で、自分自身や日本について考えるきっかけにもなりました。振り返れば辛いこともありましたが、実際にたくさんの人と出会い、色々なことを経験することは自分自身を成長させることにつながりました。

小西 温 さん ● 4回生 ● 交換留学

自分自身で作る留学生活

私はシドニー工科大学に半年間留学していました。大学はシドニーの主要駅の一つであるセントラル駅から徒歩数分のとても便利な場所に位置しています。街はとても栄えていて、休日にはマーケットやビーチに行ったりスポーツ観戦をしたりなど、日本では味わえない生活を満喫しました。シドニーを選んだよかった点は自分次第でさまざまなことを経験できることです。大学には180を超えるサークルや団体があり、自分の好きなこと、興味のあることに挑戦できます。私の場合、バレーボールの経験が私の留学を大きく変えてくれました。私は大学で行われていた週2回のセッションに参加し、そこで現地の学生と一緒に活動することで英語面においてもたくさんの刺激を受けました。また、友達が地元の大大会に誘ってくれて、その大会で優勝するなどすごく貴重な経験ができました。このような経験の中で留学生としてではなく一人の大学生や友人として、他の学生と関わっていけることは自分自身の自信につながりました。

武智 小夏 さん ● 3回生 ● 交換留学

学び合いの大切さ

私が留学した江原大学は、ソウルの北東に位置する春川市にあります。春川には3つの湖があり、街並みも穏やかなため、滋賀県と少し似ている気がします。キャンパスの敷地面積は韓国で最も大きく、リスも見られるくらい自然豊かで、のびのびとした大学です。
韓国に来た当初は韓国語が理解できず、10ヶ月も生活できるのか不安でいっぱいでした。しかし、私が所属していた日本学科では行事が多く、韓国人の学生と交流する機会が多かったため、韓国語を沢山聞いて話しているうちに苦手意識は無くなりました。私が韓国語を積極的に話すようになったきっかけは、日本学科の学生達です。彼らは私に日本語で伝えようとし、使い方が合っているのかを尋ねてきました。授業で習った日本語を試そうとする姿を見て、完璧にできなくて当然であり、使ってみることが重要なことを実感しました。積極的に話すようになったことで友達ともより親しくなり、一歩踏み込んだ話などできるようになりました。せっかくの限られた留学生活なら、積極的に行動することを強くおすすめします!

福田 涼葉 さん ● 3回生 ● 交換留学

自ら動き、挑戦する

私は台湾の台中市にある中興大学に1年間留学しました。台中市は台湾のちょうど真ん中あたりに位置しており、気温や都市の発展具合もすべて真ん中くらいの地域です。台湾に着いたばかりの頃は、中国語文法の知識があるものの、全く喋れない状態でした。中国語の授業では先生が常に中国語を話すので、最初は聞きとれず、友達に何度も助けられました。台湾に来てからはとにかくチャンスを自ら探もう、と考えながら行動していました。質問があれば、質問し、行きたい場所があれば、予定を立てて、受け身の姿勢を取らないように心がけていました。結果的に、多くのクラブ活動やボランティアに参加することができました。一人で台湾一周の旅にも出ました。今となってはよい思い出です。多くの留学生には同じ国から来た友達にいたのですが、私にはそのような形で頼れる存在はいませんでした。当初はつらく感じたのですが、その状況が自分を成長させてくれたのだと思います。自ら挑戦し、学び、物事を解決する姿勢が身につきました。

野村 多香美 さん ● 3回生 ● 交換留学

2015～2022年度卒業生の就職・進学先

(2023年3月31日現在)

2023年3月に学科の第8期生が卒業を迎えました。

□ 就職

*すべての就職先企業を挙げています。

金融・保険 6%

㈱イオン銀行、イオンクレジットサービス㈱、㈱大垣共立銀行、大阪シティ信用金庫、岡三証券、㈱関西アーバン銀行(2名)、岐阜信用金庫(2名)、共栄火災海上保険㈱、近畿労働金庫、湖東信用金庫、㈱滋賀銀行、住友生命保険㈱、全労済アシスト㈱、日本生命保険㈱、㈱百五銀行、明治安田生命保険㈱、㈱りそな銀行

公務 6%

愛荘町役場、朝来市、和泉市、宇治市、おおい町役場、京都市(3名)、厚生労働省、国土交通省、滋賀県警察(事務官)、滋賀県庁、長野町(地域おこし協力隊)、長浜市(3名)、西宮市役所、東近江市、彦根市、防衛省

旅行・宿泊 6%

アパホテル㈱、エアポートホテル運営企画㈱、㈱京都東急ホテル、クラブツーリズム㈱、㈱京阪アーバンシステムズ、京阪ホテルズ&リゾーツ㈱(4名)、㈱ジェイアール西日本ホテル開発、㈱JTBグローバルマーケティング&トラベル、㈱JTBメディアリテリング、ダイワロイヤルホテルシティ㈱、東急リゾーツ&ステイ㈱、西鉄旅行㈱、㈱阪急交通社、㈱阪急阪神ホテルズ、フリックイン福井㈱、㈱ホテル京阪、㈱ホテルニューアワジ、㈱緑水亭

教育・学習 8%

英語の教員(高校9名/中学4名)、大学事務(関西大学/滋賀医科大学/滋賀県立大学)、アイオ㈱、㈱ECC、㈱イーオン、㈱GABA、㈱京進、㈱ケーイーシー、自分未来きょういっく㈱、㈱グリット、㈱ベシック(3名)

運輸・交通 9%

伊藤忠ロジスティクス㈱、ANA成田エアポートサービス㈱、㈱宇徳、㈱NTTロジスコ、エムケイ㈱、キャセイパシフィック航空、㈱KSAインターナショナル、鴻池運輸㈱(2名)、㈱JALスカイ大阪、神鋼物流㈱、全日本空輸㈱(3名)、㈱辰巳商会、㈱中央倉庫、中部興産㈱、中部国際空港旅客サービス㈱、㈱トリムスカイ名古屋、西日本鉄道㈱、日航関西エアカーゴシステム㈱、㈱日新、日東物流㈱、日本航空㈱(4名)、㈱日本トラフィックサービス、㈱阪急阪神エクスプレス、兵機海運㈱、三重交通㈱、名港海運㈱

建設・不動産 4%

アレジ ㈱、㈱一条工務店(2名)、エクコムグローバル㈱、㈱シェア180、㈱昭建、大東建託パートナーズ㈱、㈱長栄、ブラウDESTレジデンス㈱、㈱フルステージ、ユーコーコミュニティ ㈱、㈱レオン都市開発、レクストホールディングス㈱

広告

㈱WILL
㈱ティレイインフォメーション関西
㈱メンバーズ

医療

(医)風林会リセクリニク

その他

(公財)全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所

製造 19%

㈱アイ・オーデータ機器、IMV㈱、イビデン㈱、㈱永昌堂印刷、㈱エテュセ、近江印刷㈱、大塚産業クリエイティブ㈱、岡本㈱、㈱オフレクス、京セラドキュメントソリューションズ㈱(2名)、旭光精工㈱、ケニス㈱、小林クワイエット㈱、㈱三社電機製作所、㈱SHIMADA、㈱SCREENホールディングス、㈱大興製作所、大正製薬㈱、大和冷機工業㈱、多田プラスチック工業㈱、TBカワシマ㈱、㈱デサント(2名)、東京計装㈱、TOWA㈱(2名)、㈱トップ精工、ニチコン㈱、日進化学㈱、日本新薬㈱、日本電気硝子㈱(2名)、日本ビラー工業㈱、日本クロージャー㈱、日本電産㈱、任天堂㈱、パナソニック㈱(2名)、パナソニックコネクト㈱、㈱日立建機ティエラ(2名)、フォスター電機㈱、㈱福井村田製作所、㈱フコク、富士通㈱、古河AS㈱(2名)、北陽電機㈱、ホソカワミクロン㈱、㈱堀場製作所、マルホ発條工業㈱、㈱村田製作所(5名)、㈱モルテン、山一電機㈱、ヤマハ㈱、㈱ラッシュジャパン

卸・小売 17%

イオンリテール㈱、伊藤忠プラスチック㈱、㈱IDOM、㈱オークワ、㈱尾賀電、協和商事㈱、㈱キャン、㈱スリのアオキ㈱、くらこんホールディングス、ゲンキー㈱(2名)、㈱コスモス薬品、シークス㈱、滋賀三菱自動車販売㈱、㈱システムクリエイト、島田商事㈱(2名)、昭産商事㈱、上新電機㈱、神楽㈱、㈱ジンス(2名)、㈱ストライプインターナショナル、Suprievie㈱、(同)西友、㈱セツヨアステック、ダイキンHVACソリューション近畿㈱、㈱大松、㈱タイムレス、タキキ種苗㈱、㈱たねや(4名)、格本興業㈱、テンフィールズファクトリー㈱、㈱トーホーコーポレーション(2名)、㈱ドンキホーテ、㈱中村藤吉本店、(関西)西友、日本エアロスペース、㈱日本オプティカル、㈱八興、㈱パローホールディングス、㈱阪和、阪和興業㈱、㈱ファミリー、(㈱富士インダストリーズ、富士電機ITソリューション㈱、㈱プロジェクトファイブ、㈱マルカ、村上木材㈱、㈱モンベル、リカーマウンテン、㈱リキデン、リコージャパン㈱、㈱ロマンライフ、㈱ロンクラ

サービス 13%

㈱アテナ、㈱アルク、㈱アングンテ、イオンテライト㈱、㈱ウィルオブワーク、㈱ウィルグループ、NPO法人W+H+N、㈱SRC、㈱エスティーワールド、㈱エヌオーイー、㈱園堂、㈱オリエンタルランド、オリジン東秀㈱、㈱鎌倉新書、がんこフードサービス㈱、キタイ設計㈱、京都生活協同組合、近鉄パナソニックレテリングサービス㈱、京阪ビルテクノサービス㈱、㈱サンフレア、ジーエーコンサルタンツ㈱、JALレーク伊吹、㈱ジェラン、㈱システム・コムニケート、スイスポードジャパン㈱、㈱スタッフサービス、高見㈱(2名)、㈱TADコーポレーション、WDB㈱、名古屋エアータラップ㈱、日研トータルソリューションズ㈱、㈱日新、㈱nobilitu、㈱パルグループホールディングス㈱、(有)福祥福祉社、福屋ホールディングス、㈱ブラブジャパン、㈱Plan-Do-See、㈱ポンリプラン、㈱モンテローザ、㈱ユーコー、㈱Legaseed

情報通信 11%

㈱IBJ、㈱アルファシステムズ、㈱インフィニトラベルインフォメーション(3名)、㈱ヴィンクス、Wovn Technologies㈱、㈱カブコン、キシステム、京セラコミュニケーションシステム㈱、㈱クラウドポイント、グランパレイ㈱、㈱JFR情報センター、㈱シティコム、㈱ジャステック、㈱昭和システムエンジニアリング、Sky㈱(2名)、太陽企画㈱、㈱チューリップテレビ、㈱電算システム、㈱トムス・エンタテインメント、㈱ドワンゴ、日本放送協会、㈱パナソニックフィルムワークス、㈱フォーカスシステムズ、㈱双葉社、㈱フューチャースピリッツ、㈱プラスアルファコンサルティング、㈱USEN-NEXT HOLDINGS、ユニバーサルコンピューター㈱、楽天グループ㈱(4名)、㈱ラプラスシステム、㈱リンクレア、㈱Viz

□ 進学

〈大学院〉 滋賀県立大学大学院(3名)、大阪大学大学院、岐阜大学大学院、メルボルン大学大学院(オーストラリア)、早稲田大学大学院

卒業生メッセージ

勤務先：株式会社モルテン
笹原 大さん(2015年度卒業)



弊社は自動車部品、医療福祉機器、マリノ産業用品、スポーツ用品といった幅広い分野の製品の製造販売を行っています。私が所属するスポーツ事業部では、バスケットボール、サッカー、バレーボール、ハンドボールなどの商品を取り扱っており、世界中の各種大会で採用していただいております。現在私はドイツを拠点に、欧州8カ国で各国の代理店やスポーツ協会との契約交渉や販売促進活動に励んでいます。また、ドイツ販売子会社では在庫の調達管理や、ドイツ側と本社とのやり取りもしています。あらゆる仕事において各国の担当者と英語でやり取りをするため、大学で培った語学力やコミュニケーション能力が大いに役立っています。

大学在学中には、語学だけではなく、アジアや欧米の文化と歴史など幅広く学びました。外国人の先生や留学生と積極的に交流し、国際感覚も磨くことができました。アメリカ留学では学業だけでなく、現地の学生たちに交じってバスケットボールの大会やアルバイトにも挑戦し、実際に様々な国籍、人種の人たちとコミュニケーションを取る機会を多くもちました。大学生活やスポーツを通じて国際交流の素晴らしさをあらためて知ることができ、その経験は、現在の仕事に就く原点にもなっています。

勤務先：株式会社チューリップテレビ
佐藤 優里さん(2021年度卒業)



弊社は富山県のTBS系列のテレビ局で、私はアナウンサーとして働いています。ニュースを読むだけでなく、取材に出かけて原稿をまとめたり、ロケに行ったりするなど、幅広い業務をこなすことで充実した日々を送っています。在学中はドイツ語のゼミに所属し、留学生と互いの言語を教えあうことや、アジア人留学生から流行りのファッションやメイクを教えてもらうこともあり、気軽に国を超えたつきあいができる環境にいました。その頃からつたなくても相手に伝えたいという気持ちを常に大切にしてきましたが、それが現在の仕事にも強く活かされています。また、英語科の教員免許も取得しましたが、大学の先生や先輩の前で模擬授業をしたり、教育実習で30人以上の生徒の前で英語を話したりしたときに、不安や緊張を乗り越えなければならませんでした。その経験が自信となり、面接の際に堂々とした受け答えや振る舞いができました。高校3年生の頃はアナウンサーとして働くなど想像もできませんでしたが、何がきっかけで夢が定まるかはわからないものです。今の頑張りほどのような形であるかはわかりませんが、きっと未来の自分に繋がっていくと思います。可能性に満ちている皆さんが滋賀県立大学で夢を見つけて、素敵な学生生活を過ごせることを祈っています。

勤務先：日本航空株式会社
伊作 希望さん(2019年度卒業)



弊社は「世界で一番お客さまに選ばれ、愛されるエアライングループ」を目指しています。フルサービスキャリアの航空事業はもちろんのこと、2030年のSDGs目標達成に向けた取り組みや社会貢献活動も行っています。私も生まれ育った滋賀県に貢献すべく、昨年度よりJALふるさとプロジェクトの一環であるふるさと応援隊(関西)の活動を続けています。

在学中は英語・ドイツ語・モンゴル語の習得に力を注ぐとともに、英文学、欧米文化などについても幅広く学びました。また8カ月間のアメリカ留学中に経験した異文化交流をきっかけに、日本文化への造詣が深まり、文化人類学の視点から日本の仏教に関する研究をしました。現在、客室乗務員として多様なお客さまへ品質の高いサービスを提供するうえで、大学生活4年間で培った語学力やグローバルな視野が大いに役立っています。国際コミュニケーション学科では、交換留学生の皆さんと交流する、さまざまな機会が得られるのも魅力の一つです。少人数だからこそ手厚くサポートしていただけるこの環境で、一人の人間として大きく成長していくのを実感できると思います。ぜひあなたの「+one」を見つけてみてください!

勤務先：彦根市立鳥居本中学校
岡 菜里奈さん(2022年度卒業)



私の勤務校は彦根で唯一の小中一貫型小中学校の「鳥居本学園」です。私は中学校で英語科の教員として勤務し、小学生の英語の授業にも関わっています。大変なこともありますが、この仕事に大きな責任とやりがいを感じています。在学中は、普段の授業に加えて、アメリカへの留学やランゲージ・パートナー、交換留学生のチューターなどを経験しました。初めは自分の英語力を伸ばすことが目的でしたが、様々な背景の人たちとコミュニケーションを取るうちに、これまでの自分を見つめ直し、視野や考え方を広げることができました。母語以外の言語を新たに学べば、自分とは違う考え方をもつ人に寄り添おうとする気持ちが生まれてきます。生徒にはこの先日本語以外の言語を使う必要性が生じるかどうかは別として、英語学習を通して他者を理解しようとする姿勢を培ってほしいという一念で日々、授業に臨んでいます。国際コミュニケーション学科では、様々な視点から異文化について広く学ぶことができ、自分の好奇心を引き出せる機会がたくさんあります。普段とは違う環境に身を置いてみることで、これまで見たことのない世界に出会えるチャンスもあります。自分にしかできない経験を通して、皆さんの将来の可能性が広がることを願っています。

取得可能な資格

- 中学校教諭1種免許状(英語) ● 高等学校教諭1種免許状(英語)
- 以下の検定試験の受験をサポートします。
- IELTS ● TOEFL® ● TOEIC®/TOEIC®SW ● 中国語検定試験 ● 漢語水平考(HSK) ● 実用フランス語技能検定試験
- DELF・DALF(フランス語) ● ドイツ語技能検定試験 ● 韓国語検定試験(TOPIK) ● ハングル能力検定試験 ● 通訳案内士試験 etc

資格等

入試情報

一般選抜試験(科目と配点)

前期(25名)

	国語	地理歴史・公民	数学、理科	外国語	合計
大学入学共通テスト	100	100 ¹⁾	100 ²⁾	250 ³⁾	550
個別試験	200 ⁴⁾			200(英語)	400

- 1) 地理歴史・公民は1科目を選択。 2) 数学、理科から1教科を選択。
 3) 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語。200点満点を250点満点に換算。
 4) 国語総合・現代文B

後期(15名)

	国語	地理歴史・公民	外国語(英語)	合計
大学入学共通テスト	100	100 ¹⁾	250	450
個別試験		小論文200		200

- 1) 地理歴史・公民は1科目を選択。

特別選抜

学校推薦型選抜(10名) *各高校2名まで

試験科目:「総合問題」 100点(総合問題には英語力を問う設問を含む。)

面接:「面接」 100点

※ 地域等の条件…次のいずれかに該当する者

- ①滋賀県内の学校を2023年度内に卒業(修了)または卒業(修了)見込みの者
 ②入学の1年前(2023年4月1日)から引き続き本人または保護者(親権者)が滋賀県内に居住している者

帰国生徒・私費外国人留学生(若干名)

試験科目:「総合問題」

面接:「面接」

※ 私費外国人留学生特別選抜の出願には、独立行政法人日本学生支援機構が実施する2023年度日本留学試験を受験する必要があります。

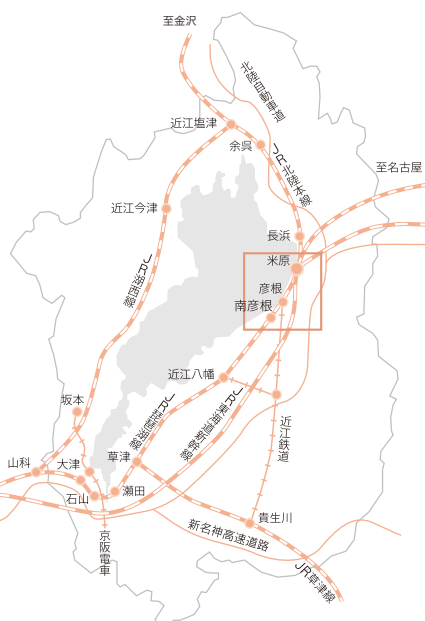
※詳しくは本学ホームページをご参照ください。

<https://www.usp.ac.jp/gakubu/jinbun/gakubu/kokusai/icc/index.html>

交通アクセス

0 10 20 km

- JR南彦根駅まで
JR京都駅から
普通で65分
JR名古屋駅から
快速で80分
(米原駅で乗り継ぎ)
- JR彦根駅まで
JR京都駅から
新快速で50分
新幹線で30分
(米原駅で乗り継ぎ)
JR名古屋駅から
新幹線で35分
(米原駅で乗り継ぎ)
JR金沢駅から
特急で120分
(米原駅で乗り継ぎ)



滋賀県立大学

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500

Tel.0749-28-8200 Fax.0749-28-8470

The University of Shiga Prefecture

2500 Hassaka-cho, Hikone City, Shiga 522-8533 Japan

<https://www.usp.ac.jp/>

▼国際コミュニケーション学科のホームページ

<https://www.usp.ac.jp/gakubu/jinbun/gakubu/kokusai/icc/index.html>



受験料

17,000円

入学金

県内: 282,000円 県外: 423,000円

※ 入学手続き時に納入

授業料

年間総額: 535,800円

※ 前期・後期に分け納入(各期: 267,900円)

※ 2020年度より授業料減免と給付奨学金の制度が拡充されました。

〈授業料減免〉

<https://www.usp.ac.jp/life/jugyoryo/>

〈給付奨学金〉

<https://www.usp.ac.jp/life/shogakukin/>

※ 留学費用は別途必要です。

奨学金

日本学生支援機構奨学金などの制度が活用できます。

留学助成金制度

一定の条件のもとに海外留学生を経済的に支援する制度があります。

留学種別	留学助成金	合計額
交換留学	アジア圏以外	月額2万円 最大24万円
	アジア圏	月額1万円 最大12万円
派遣留学	派遣先授業料の1/2	上限20万円
認定留学		上限10万円
短期海外研修助成金		3万円

※ 詳しくは留学ガイドブック2023を参照してください。

大学周辺マップ

0 1000 2000 m

- JR南彦根駅から大学まで
バスで15分/タクシーで8分
- JR彦根駅から大学まで
バスで25分/タクシーで10分



滋賀県立大学概要

滋賀県立大学は、環境科学部、工学部、人間文化学部、人間看護学部の4学部を擁する総合大学で、「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間。」をモットーに、フィールドワークや実験実習を多く取り入れた特色ある教育研究を行っています。4つの学部の中には13の学科が設置され、また各学部を基礎に大学院も開設されています。国際コミュニケーション学科は、人間文化学部の5番目の学科として2012年に新たに開設されました。(詳細はHP、キャンパスガイドを参照)